

HolonEnterprise V7.0 における
テキストコンバータの障害について

1. リバース変換で不正なテキスト仕様が作成される事により、再度リバース変換 フォワード変換が必要となる障害

<p>障害内容</p>	<p>処理定義において、THEN 文、OF 文、PROTECT 文、CATCH 文の次の行に COMMENT 文が定義されている HOLON 仕様をリバース変換してフォワード変換すると、出力された HOLON 仕様が不正となります。</p> <p>また、処理定義において、MACRO 引用行の前の行に BLOCK 文、FOR 文、LOOP 文、UNTIL 文、WHILE 文、IF 文、CASE 文、TRY 文、COMMENT 文が定義されている HOLON 仕様をリバース変換してフォワード変換すると、出力された HOLON 仕様が不正となります。</p> <p>プログラム仕様に引用した項目部品クラスに対し、色を変更した仕様をリバース変換->フォワード変換すると、出力された HOLON 仕様から項目部品クラスに対し変更した色の情報がなくなります。</p>
<p>対処</p>	<p>すでに貴部門にてリバース変換済みの仕様がある場合は、この障害のために誤った内容でテキスト形式仕様が作成されている可能性があります。大変申し訳ありませんが、そのような仕様については、再度リバース変換 フォワード変換を行っていただく必要があります。</p> <p>テキスト仕様をテキストエディタ等で直接修正される場合は、 障害 COMMENT 文の前の行に、THEN 文、OF 文、PROTECT 文、CATCH 文に対応する END 文(END_THEN 文、END_OF 文、END_PROTECT 文、END_CATCH 文)を追加してください。</p> <p>また、MACRO 文の前の行に、BLOCK 文、FOR 文、LOOP 文、UNTIL 文、WHILE 文、IF 文、CASE 文、TRY 文、COMMENT 文に対応する END 文(END_BLOCK 文、END_FOR 文、END_LOOP 文、END_UNTIL 文、END_WHILE 文、END_IF 文、END_CASE 文、END_TRY 文、END_COMMENT 文)を追加してください。</p> <p>障害 _ITEM 配下の_UPDATEPROPERTY 配下に_COLOR を追加してください。</p>
<p>対象仕様の検出方法</p>	<p>障害 完全に検出する事はできませんが、本障害の可能性のある部分の検出方法を示します。 別紙 1 を参照してください。</p> <p>リバース変換、フォワード変換した HOLON 仕様におきまして、COMMENT ブロックが、THEN ブロックまたは OF ブロック、PROTECT ブロック、CATCH ブロックの最後に定義されている仕様が対象となる可能性があります。</p> <p>また、MACRO 引用されている仕様 HOLON 仕様におきまして、MACRO 引用行が BLOCK ブロック、または FOR ブロック、LOOP ブロック、UNTIL ブロック、WHILE ブロック、IF ブロック、CASE ブロック、</p>

	<p>TRY ブロック、COMMENT ブロックの最後に定義されている仕様が対象となる可能性があります。</p> <p>障害 プログラム仕様において、引用した項目クラスに対し色の変更を行われている仕様が対象となります。</p>
--	---

2. リバース時に不正な構文を出力していた障害により、フォワード変換時にエラーが発生する障害

障害内容	<p>プログラム仕様に引用したスピントタンクラスに対し、フォントと色を変更した仕様をリバース変換->フォワード変換すると、フォワード変換時にエラーが発生します。</p>
対処	<p>すでに貴部門にてリバース変換済みの仕様がある場合は、この障害のために誤った内容でテキスト形式仕様が作成されている可能性があります。フォワード変換時に下記エラーが発生した場合は、大変申し訳ありませんが、再度リバース変換を行っていただく必要があります。</p> <p>テキスト仕様をテキストエディタ等直接修正される場合は、_SPINBUTTON 配下の_UPDATEPROPERTY 配下に記述されている_FONT および、_COLOR を削除してください。</p>
対象仕様の検出方法	<p>プログラム仕様において、引用したスピントタンクラスに対し、フォントと色の変更を行われている仕様が対象となります。</p> <p>その場合、現在使用されている物件でフォワード変換を行った際、以下のエラーが発生します。</p> <p>文法エラーが発生しました。[_FONT] 文法エラーが発生しました。[_COLOR]</p>

3 . 画面項目にリスト設定が指定されている場合に、リスト設定方法の種別が正しくリバース変換されない障害

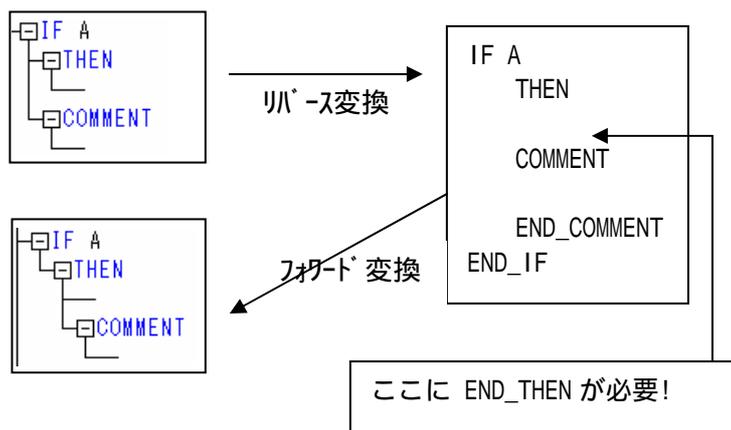
障害内容	<p>項目定義において、リスト設定方法（定数入力／データベース検索／処理設定）で指定した内容と異なる構文がテキスト形式仕様に出力されます。</p> <table border="1" data-bbox="580 483 1329 633"> <thead> <tr> <th>仕様</th> <th>テキスト形式仕様(誤)</th> <th>テキスト形式仕様(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定数入力</td> <td>出力されない</td> <td>_INPUTCONSTANT</td> </tr> <tr> <td>データベース検索</td> <td>_INPUTCONSTANT</td> <td>_DATABASE</td> </tr> <tr> <td>処理設定</td> <td>_DATABASE</td> <td>_PROCEDURE</td> </tr> </tbody> </table>	仕様	テキスト形式仕様(誤)	テキスト形式仕様(正)	定数入力	出力されない	_INPUTCONSTANT	データベース検索	_INPUTCONSTANT	_DATABASE	処理設定	_DATABASE	_PROCEDURE
仕様	テキスト形式仕様(誤)	テキスト形式仕様(正)											
定数入力	出力されない	_INPUTCONSTANT											
データベース検索	_INPUTCONSTANT	_DATABASE											
処理設定	_DATABASE	_PROCEDURE											
対処	<p>すでに貴部門にてリバース変換済みの仕様がある場合は、この障害のために誤った内容でテキスト形式仕様が作成されている可能性があります。大変申し訳ありませんが、そのような仕様については、再度フォワード変換を行っていただく必要があります。</p> <p>誤った内容で出力されているテキスト形式仕様をフォワード変換される際には、環境変数 HLNTXTLISTOPT を ON に設定し行ってください。これにより、正しい HOLON 仕様に変換されます。</p> <p>なお、フォワード変換終了後、環境変数HLNTXTLISTOPTは削除して頂くようお願いいたします。</p> <p>また、テキスト仕様をテキストエディタ等で正しく修正して頂き、再度フォワード変換して頂く事によっても対処可能です。この場合、正しい内容のテキスト形式仕様をフォワード変換しますので、HLNTXTLISTOPT は不要です。</p> <p>今回修正しました物件でリバース変換すると、テキスト形式仕様のリスト設定は正しく出力されます。リバース変換により正しい内容で出力されたテキスト形式仕様には、テキストの先頭行にバージョン情報(;_HOLON_TEXTSPEC '001')が付加されております。正しいテキスト形式仕様を判断する際にご参照ください。</p>												
対象仕様の検出方法	<p>既にリバース変換済みのテキスト仕様ファイル内を検索して頂き、_LIST が検出された仕様が対象となります。</p>												

別紙 1

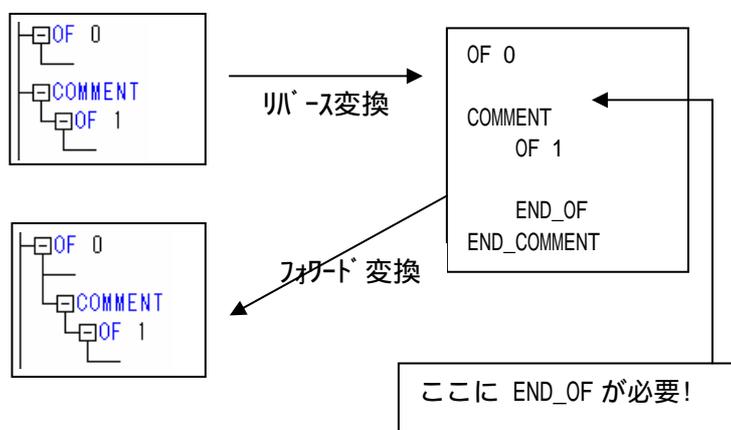
処理定義において、THEN 文、OF 文、PROTECT 文、CATCH 文の次の行に COMMENT 文が定義されている HOLON 仕様をリバース変換してフォワード変換すると、出力された HOLON 仕様が不正となる障害について

以下のような障害が発生します。

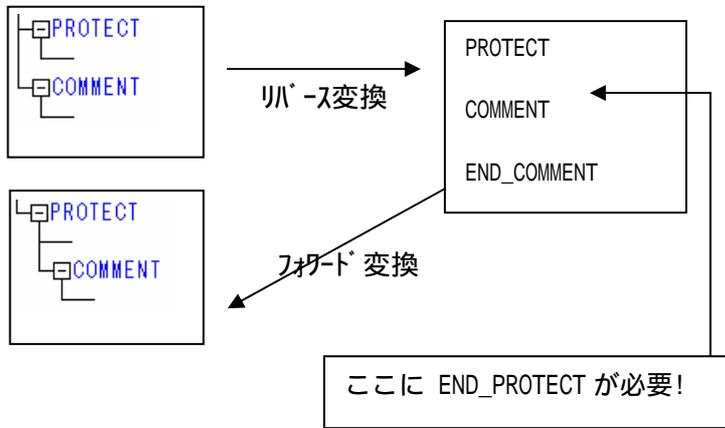
(1) THEN 文の次の行に COMMENT 文が定義されている場合



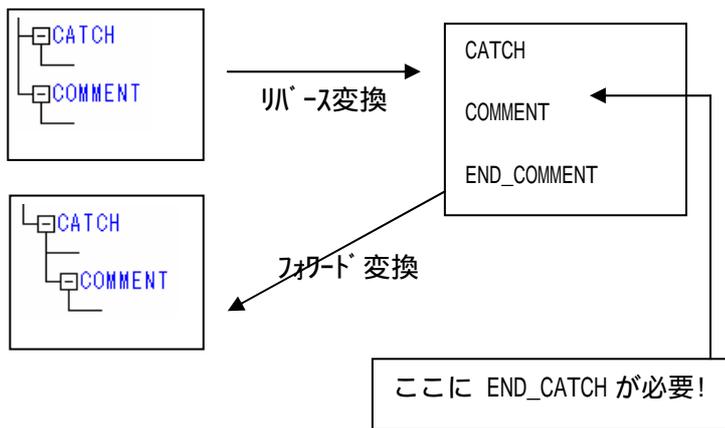
(2) OF 文の次の行に COMMENT 文が定義されている場合



(3) PROTECT 文の次の行に COMMENT 文が定義されている場合



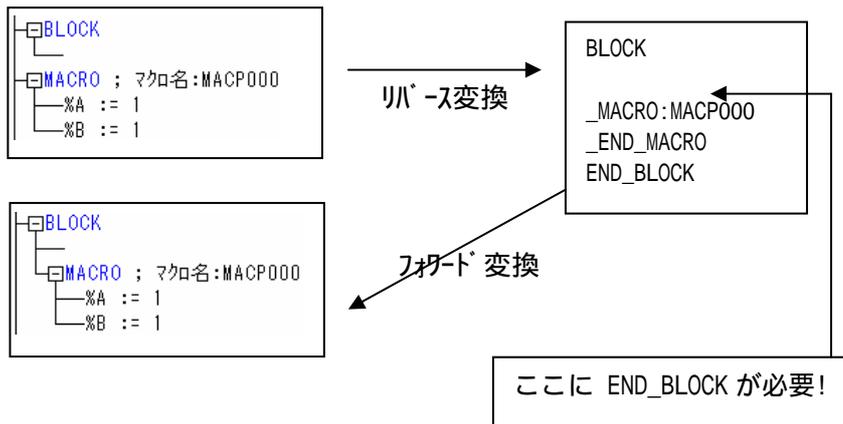
(4) CATCH 文の次の行に COMMENT 文が定義されている場合



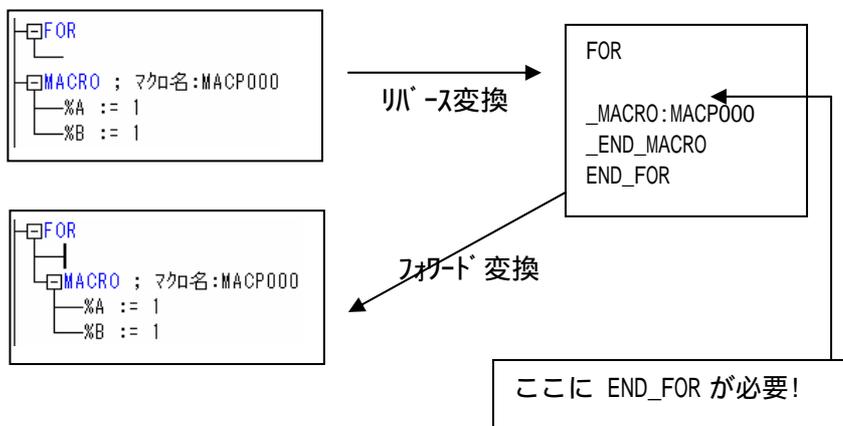
処理定義において、MACRO 引用行の前の行に BLOCK 文、FOR 文、LOOP 文、UNTIL 文、WHILE 文、IF 文、CASE 文、TRY 文、COMMENT 文が定義されている HOLON 仕様をリバース変換してフォワード変換すると、出力された HOLON 仕様が不正となります。

以下のような障害が発生します。

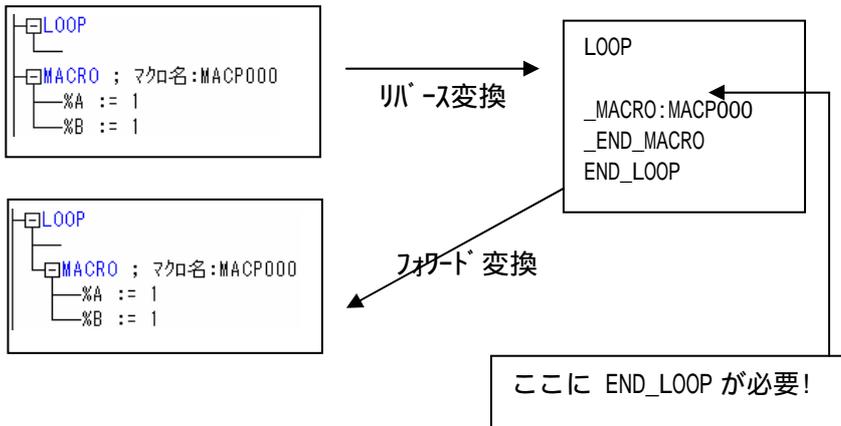
(1) MACRO 引用行の前の行に BLOCK 文が定義されている場合



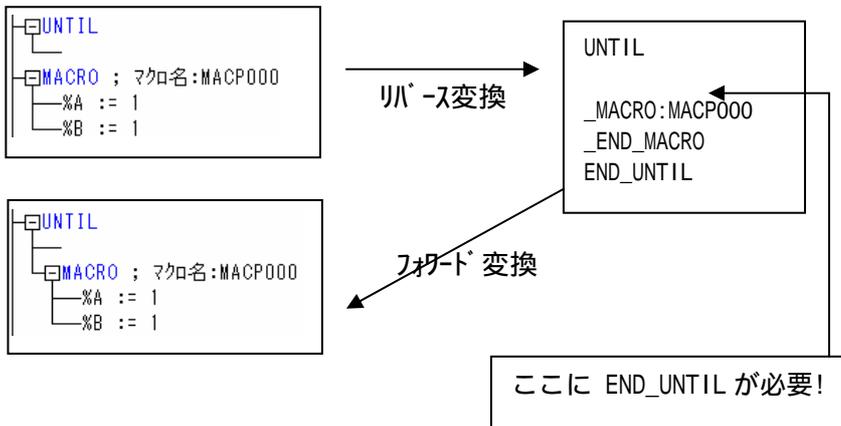
(2) MACRO 引用行の前の行に FOR が定義されている場合



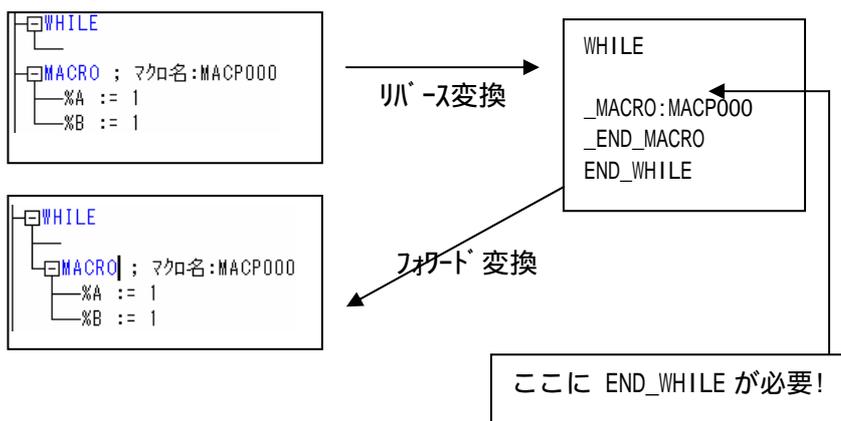
(3) MACRO 引用行の前の行に LOOP が定義されている場合



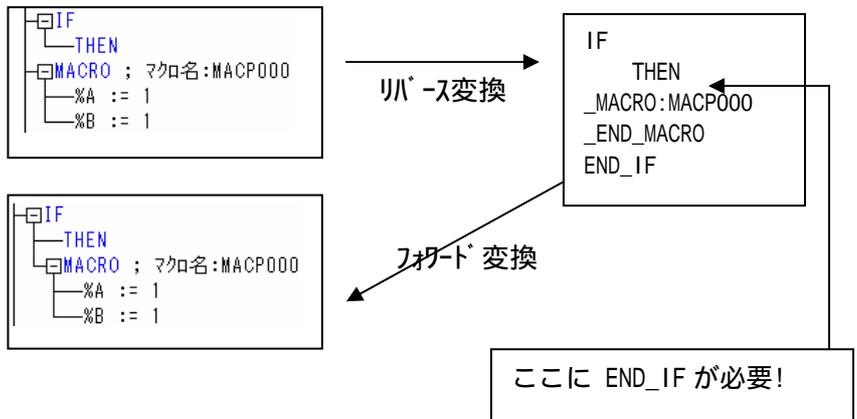
(4) MACRO 引用行の前の行に UNTIL が定義されている場合



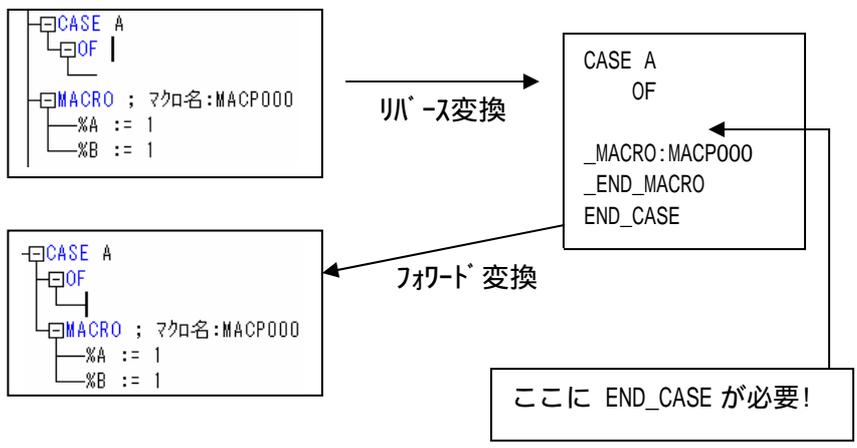
(5) MACRO 引用行の前の行に WHILE が定義されている場合



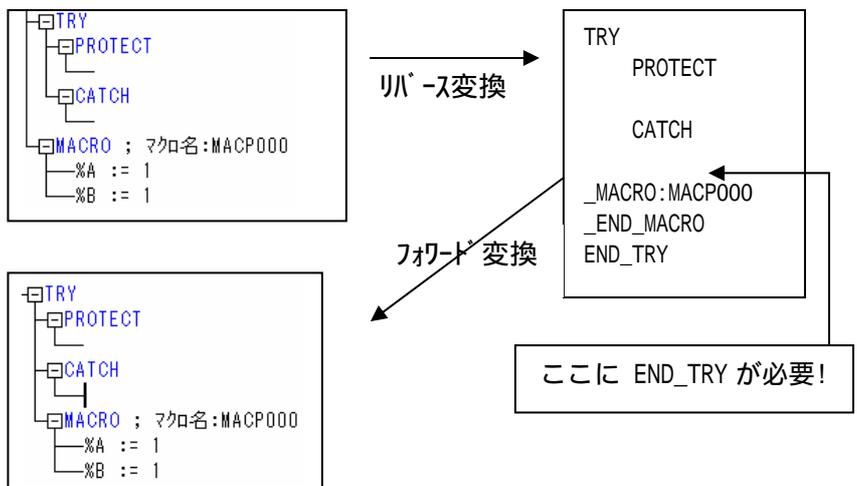
(6) MACRO 引用行の前の行に IF が定義されている場合



(7) MACRO 引用行の前の行に CASE が定義されている場合



(8) MACRO 引用行の前の行に TRY が定義されている場合



(9) MACRO 引用行の前の行に COMMENT が定義されている場合

